

マイタウンガイド

城西地区編



▶ 全校児童による校章の文字

写真提供 ユニオン・エンタープライズ(株)

今回ご案内する城西地区(学区)は、御坂、常盤木町、神明町、片山、根下戸など二十八の行政町内から成っています。これらの町内のほぼ中央に、今年で創立三十周年を迎えた城西小学校(田山久校長)があります。

十月一日、同校の創立三十周年記念式典が開かれ、児童や教職員、父兄、卒業生など約八百人が出席して三十年の節目を祝いました。

同校は、昭和三十三年九月、市町村合併に伴う学校統廃合で古館、片山両小学校が廃止されたことにより、現在地に創立しました。また、三十四年四月には城南小学校学区の一部を同校に編入し、現在の学区形成となりました。生徒数は現在五百七十四人で、これまでに四千二百四十八人の卒業生を送り出しており、環境緑化での全国表彰、各教科・道徳の文部省指定の研究、スポーツ、発明工夫などに数々の実績をあげています。

城西小学校創立当時の思い出 貴重な体験“グラウンドづくり”



城西小学校三期生
(昭和三十五年度卒)
山内 進さん
(常盤木町)

あれは小学校五年の二期のことです。それまで通っていた城南小学校から、新しくできた城西小学校へ編入することになりました。なんて、今まで一緒に勉強したり遊んだりしていた多くの友だちと別れなければならぬのかと、とても複雑な気持ちでした。しかし、城西小学校へ来て新しい友だちがたくさんできたし、また、前の小学校では体験できなかったことも経験できたので、今では編入されてよかったと思っています。

あつた所の整地を始めたわけですが、結構きつい作業でしたが、だれも音を上げませんでした。グラウンドが完成したときの喜びは、今でも忘れることができません。

最近では、当時のような本当の意味での勤労体験学習が少なくなっていると思います。自主性創造、忍耐力、他人を思いやる心など、知性だけではなく感性も養う教育、二十一世紀へ羽ばたく国際性豊かな子どもたちを育てるためには、このような体験学習も大切ではないでしょうか。

それは「グラウンドづくり」です。私が城西へ編入となったときは、現在の校舎の一部ができていただけで、体育館はもちろんグラウンドもありませんでした。体育の授業は、校舎の屋上や教室廊下で行われていました。そこで「自分たちのグラウンドは、自分たちの手で」と、当時畑で



▶ 屋上での学習風景